

文化

出方

安永

東

黄

日記

大鳥湖行日記

文化5年(1808)

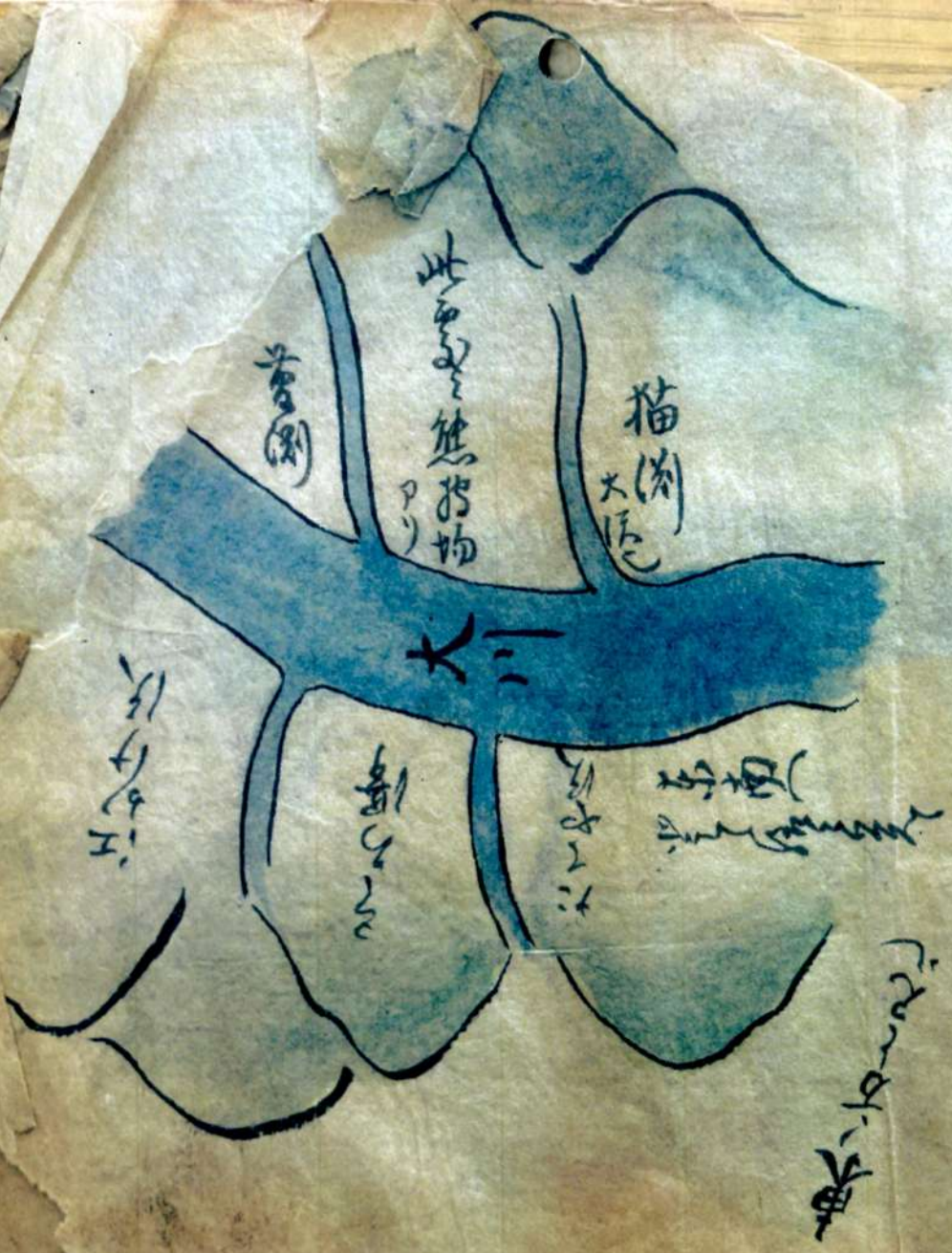
SL

817



文化五年辰七月十八日上田澤村の六ツ半時以
 出立東大鳥邑一五ツ半時ありあり一
 葉内法との召連をもつて越ゆ

東大鳥より池やる澤に銘の覺

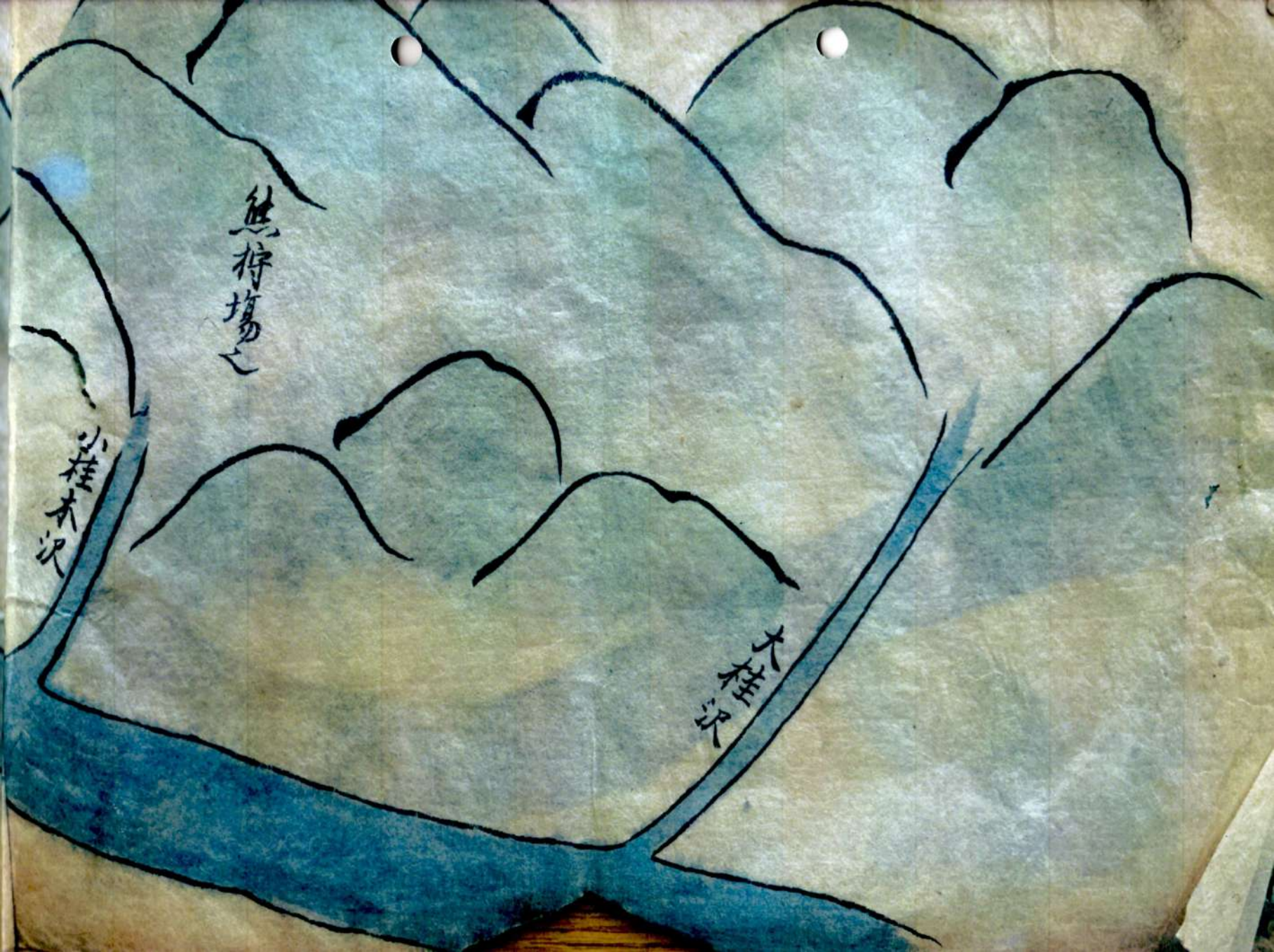


上田澤村

熊狩場之

小桂木沢

大桂木沢



此處ニテ昼休

千ヨウノ

沢口

此處ニテ名大者
とヤテ焼畑ナリ

極多量北者小森
ノケ引ノ石細心

夫吹込けや
一ノミ山見
ユル通ノノ
あまの
甲ノ神と
東のたし
しん

三ノ

芥川

芥川龍之介
龍之介

目録

芥川龍之介
龍之介

芥川龍之介

同十九日(週)と五ツもつた
出立尤未の山立と立心
の処々々々々々々々々々々
制限はさるる。

白糸滝

此處山カフヲラト云
山業ノ者泊小屋
アリ

河中ニ出キ

龍トアリ
近來出キヨシ

川中ニ黒樹ノ
平岩トアリ大石
アリ

カ

カ



上派治(例)

神ノ又口
大沢(例)

大川

此處東西トモ
至ッリ通ナリ
カイラキ(例)

見ヨリ滝ノ上とテ奥
ノ籠アリ長ツラトヤ
此處ヨリおら大石ニ
西岸ヲテ倉アリ通ル

乞くは東西も横松に云登りあきの中或は
東西ともうり通るるなりふた言ふあり東
向の山と越るる淵ふ出ふ能りものさ山地
此山峰より言ふ甲の四神ともえをいふ東
のやうなるもの

横松の内山浮の銘

- 一西ニ小長浮
- 一東ニ丸倉浮
- 一西ニちあらは
- 一東ニ地え谷地浮
- 一東ニ道りは

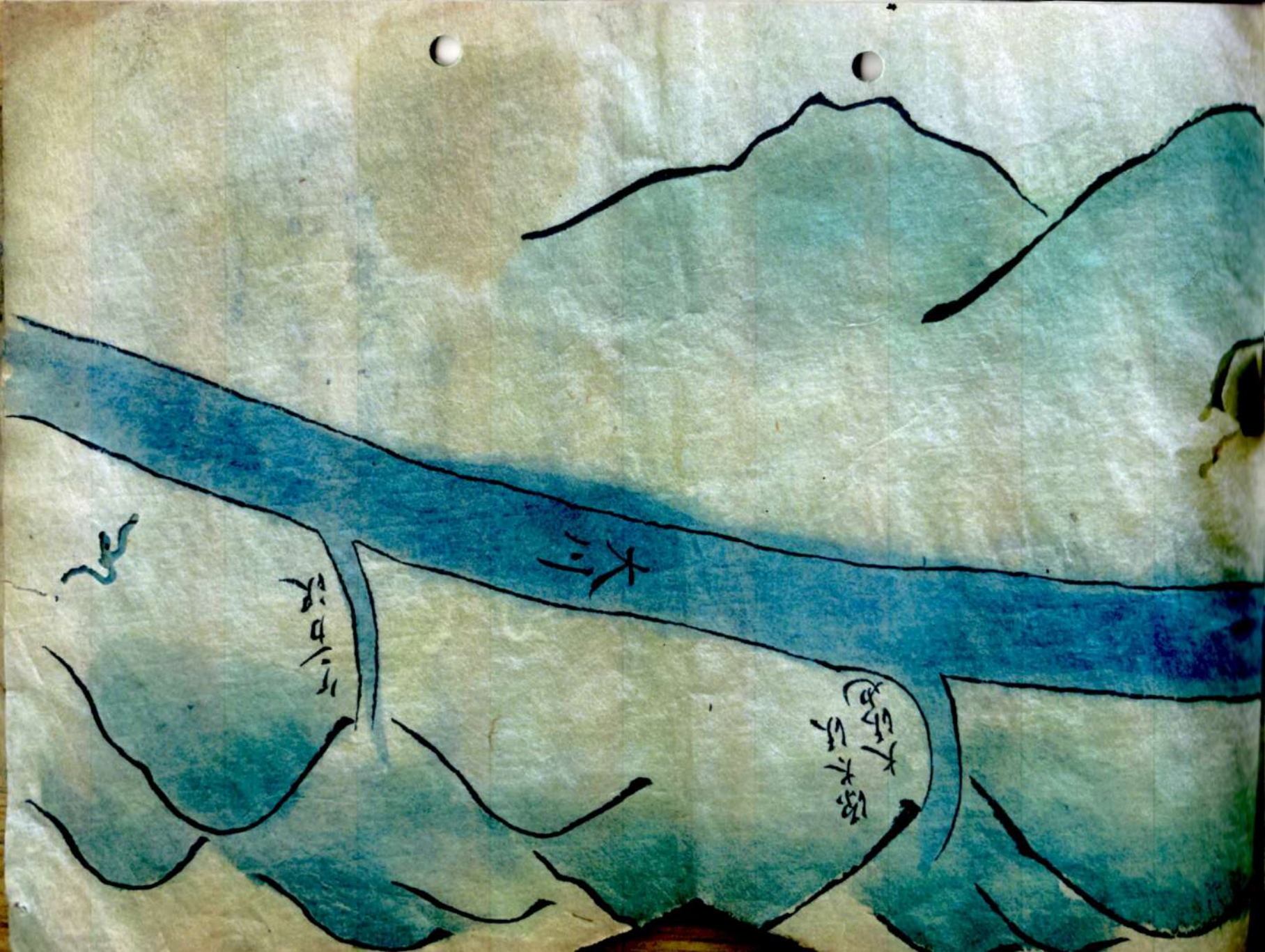




冷水沢

大沢

昭和二十一年



大川

山崎

大木

ひるがしほ

龍七の池
但し

木

大

一
西
一

是ヨリ池ノ麓尻ヲ川方麓登山ヲ越シ池
ノ麓系ノ谷道ニ入リ池ノ麓尻下段ノ瀑帯
ニ由リ他ノ北ノ向之丘上ノ下ノ谷ノ二ノ月ノ
瀧ト少シク西向キナリ



池ノ又

茅

藤之池

ト也

大深

長
イ
ヨ
カ
ニ

池ノ

倉池

セツ滝ニテ九百ヨ
ホト

落口丁ニロト云

間治

此をラ通リ池一
ノホル

河ノ

一長十二丁程

巾十丁程より傳へるるまゝ六丁ノ見本の
も刻限違ふるもいふ

一ハツ内あり地あり山麓とて至飯沼雜嘆也

●約四圍の溜り山家一夜四ツはありと云

一●聖サ。四圍より五ツ半時ころ出立九ツ内色
一東大鳥邑より

東大鳥邑より地中を行程大概乃

考

一東大鳥邑より大名地中を一里程

一 大名地より四圍までを里半程

一 四圍より海を海までを里半程

一 海を海より地中を里半程

為計七ヶ所

此の道二つありて考へるも極難歟と云

篇より心の儀は甚難し来たるも

幾世古くは中傳九王位のことは
茂準一とて成るる考はあつても
山崎の山崎橋本の後り
形